



まちがど トピックス



■生涯学習の拠点施設「**トピック** (きらめき創造館)」オープン!

9月1日、公会堂の跡地（常盤町16の11）に「**トピック**（きらめき創造館）」がオープンしました。オープンに先駆けて8月27日に実施されたオープニングセレモニーで多田市長は「生涯学習の拠点施設として、多くの人に愛され、利用される施設となるよう魅力ある施設運営に努めていきます」とあいさつしました。オープン当日には、早速、スタジオを利用する団体や自習室を利用する学校帰りの学生などの姿が見られました。皆さんも、ぜひご利用ください。



■さまざまなアートにふれる

8月20日、すばるホールで、すばるキッズアートフェスティバル2017が開催されました。会場では、吹奏楽ファミリーコンサートやダンスパフォーマンス、サイエンスショーなどのイベントが盛りだくさん。

当日は、多くの家族連れなどが訪れ、子どもたちは、さまざまなものを見たり、聞いたり、作ったりしながら、お父さんやお母さんと一緒にさまざまなアートを楽しんでいました。

■**あんどん** 行灯の明かりに浮かぶ寺内町

8月26日、富田林寺内町およびその周辺で、じないまち四季物語2017「夏」第14回富田林寺内町燈路が開催されました。

約1000基の行灯に、寺内町の歴史ある街並みが照らし出されると、辺りは幻想的な雰囲気に包まれました。また、子ども縁日や浄谷寺での中国伝統楽器のコンサートなどさまざまなイベントも開催され、訪れた人たちは寺内町の風情ある一日を楽しみました。



写真とともに見る8月～9月のできごと



■ 予防査察車を寄贈いただきました

8月22日、本市に本社を置く株式会社中野技研より、消防行政に役立ててほしいと、市消防本部に予防査察車が寄贈されました。

当日の寄贈式では、中野 好廣さん（同社代表取締役）から多田市長に車両の鍵が贈られました。

予防査察車は、火災予防のため管内施設の査察業務などに使用する車両で、今後、市民の安全・安心を守るために有効活用されます。

■ 初期対応の大切さを学ぶ

9月9日、救急の日になみ、エコー・ロゼで、「救急フェア」が開催されました。これは、救急業務への正しい理解と認識を深めてもらおうと、市消防本部が毎年実施しているもの。

当日は、救急隊による救急活動の実演の他、高規格救急車などの展示がありました。また、体験コーナーでは救急隊員から説明を受けた子どもたちが、人形を使った胸骨圧迫（心臓マッサージ）を真剣な面持ちで体験していました。



■ 未来の富田林を語り合う

9月10日、消防庁舎で、「未来の富田林をあなたと描く市民会議“Miraton 2017”」が開催されました。この取り組みは、市民と行政が共に考え、共に動いていくために、地域の課題や資源を捉え、課題の解決に向けた手掛かりを考えるワークショップ形式の市民会議です。

全4回にわたって開催される会議の1回目となる今回は、大学生を含めた58人の市民が参加し、本市の課題などについて話し合われました。

■ 応援します！あなたの健康

9月12日、エコー・ロゼで、健康月間イベント「とんだばやし健康応援キャンペーン」が開催されました。当日は、模型に触って乳がんのしこりを体験することができる「乳がん触診モデル体験」や「血管年齢測定」、「大腸がんクイズラリー」が実施されました。また、保健師や栄養士による個別健康相談も受けることができ、参加者はいつまでも健康に過ごすためのアドバイスを受けていました。

